瀬戸臨海実験所年報，第11巻，1998

田辺湾周辺海域の腔腸動物
硬水母目（刺胞動物門，ヒドロ虫綱）

久保田　信

Faunal list of Coelenterata collected from Tanabe Bay and its vicinities.
Order Trachymedusae (Phylum Cnidaria, Class Hydrozoa)

SHIN KUBOTA

硬水母目は付着性のポリプ世代をもたず，雌雄の成熟クラゲの有性生殖により体外受精で誕生したプラヌラ幼生が，海中で直接クラゲに変態する。従って，この目のクラゲは外洋で一生を過ごす。硬水母目のクラゲには以下のような形態学的特徴がみられる：傘縁触手の付け根に触手瘤が形成されない；眼点をもたない；傘縁は平滑；傘縁に糸状体を備えない；平衡器をもつ；口の付近に触手をもたない；口唇を形成する；口柄がある；口柄支持柄をもつ場合がある(例：オオカラカサクラゲ；カラカサクラゲ)；放射管上に生殖巣を形成することが多い；求心管を形成する場合もある(例：オオカラカサクラゲ；カラカサクラゲ)。

本リストでは，田辺湾周辺海域から記録された硬水母目の全種を学名のアルファベット順に挙げた。この海域からクラゲは，6属6種が記録されているにすぎない。日本産のこの目のこれまでの記録は12属14種(久保田，1998）なので，その約1/2が田辺湾周辺海域でみられることになる。なお，これら6種とも瀬戸(白浜)付近が模式産地となってはいない。

田辺湾周辺海域の硬水母目リスト

クラゲ

Aglaura hemistoma Péron and Lesueur, 1809　ヒメツリガネクラゲ
Amphogona apsteini (Vanhöffen, 1902)　フタナリクラゲ
Geryonia proboscidalis (Forskål, 1775)　オオカラカサクラゲ
Liriope tetraphylla (Chamisso and Eysenhardt, 1821)　カラカサクラゲ
Petasiella asymmetrica Uchida, 1947　ボウシクラゲ
Rhopalonema velatum Gegenbaur, 1856　イチメガサクラゲ

参　考　文　献

Komai, T. & Ikari, J. 1929. The Seto Marine Biological Laboratory of the Kyoto Imperial University. Its equipment and activities, with remarks on the fauna and flora of the environs. (A revised article). Rec. Oceanogr. Works in Japan, 1(3): 113-129, pls. 27-35.

久保田信．1998．日本産ヒドロ虫綱（8目）目録．南紀生物，40(1): 13-21.

時岡隆．1982．「海の生物」 白浜町誌 自然編 白浜の自然．pp. 165-233，白浜町．

Uchida, T. 1928. Studies on Japanese hydromedusae 2. Trachomedusae and Narcomedusae. Japan. J. Zool., 2(1): 73-97.

山田真弓．1984．田辺湾産ヒドロくらげ類 (II) ―故井狩二郎氏のスケッチから―南紀生物，26(1): 1-8.

Yamazi, I. 1958. Preliminary check-list of plankton organisms found in Tanabe Bay and its environs. Publ. Seto Mar. Biol. Lab., 7(1): 111-163.